



江戸城図（モンターヌス『東インド会社遣日使節紀行』1669年版所収）  
『東インド会社遣日使節紀行』は17世紀中盤における東インド会社職員による複数の江戸参府日記や報告書を編集したものである。同書に挿入されている図版の一つである江戸城図からは、通常目にする日本側の江戸城図とは趣の異なる印象を受ける。来日経験のない絵師が作成したことを考慮すれば、写実的に描けていないのは当然ともいえる。とはいえ、この江戸城図をより細かく鑑賞すると、城壁の石垣や漆喰、瓦などの描写にある程度の正確さがあることに気付く。オランダの絵師は、江戸参府に同行した職員が描いたスケッチを参考にしたのではないかと推測される。

日文研所蔵外書（解説：フレデリック・クレインズ准教授）